

熊本の“いま”を読む地域経済情報誌

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

馬場 成志 参議院議員
“経済に強い熊本”を全力支援

10 2025
月号
VOL.532



特集

「熊本高森線」全区間で工事着手 益城復興
「売上高100億」県内企業28社が宣言
県内企業で導入進む「小さなDX」／企画スクール特集

崇城大学の半導体人材育成学修プログラム

3つの学科を横断して、幅広く学ぶ。

【共通教育課程】

データサイエンス入門・半導体工業入門 など

【専門科目】

情報学科

- 電子回路Ⅰ □ デジタル論理回路
- 電子回路Ⅱ □ 電子デバイス工学 など

機械工学科

- 生産加工学Ⅱ □ 生産マネジメントシステム
- 生産プロセス工学 など

ナノサイエンス学科

- 応用物理化学 □ 基礎プロセス工学
- プロセス工学 など

学科を越えて半導体関連科目を履修することで、なれる人物の幅を広げる

人物像（専門技術）

半導体メーカーの生産管理技術者

プロセス設計・管理 / デバイス設計 など

製造装置メーカーの設計技術者

機構設計 / 装置製造 / 検査 など

素材・部品メーカーの設計技術者

物質設計・合成 / プロセス設計・管理
製造装置 / 素材解析 / 環境分析 など

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
JASM(株)
ローム・アポロ(株) など

東京エレクトロン(株)
平田機工(株)
(株)テラプローブ など

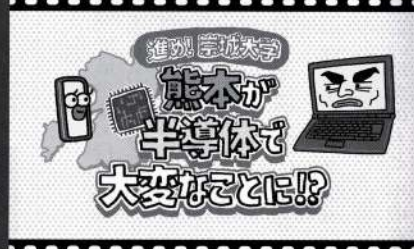
東京応化工業(株)
(株)SUMCO
三菱ケミカル(株) など

半導体関連 就職状況

アムコー・テクノロジー・ジャパン	ナノサイエンス
オジックテクノロジーズ	ナノサイエンス
オムロン阿蘇	機械・情報・応用生命科学専攻(修士)
九電工	情報
くまさんメテクス	機械・情報・生物生命
熊防メタル	ナノサイエンス
熊本ニチアス	ナノサイエンス・宇宙・情報
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing	機械・ナノサイエンス・宇宙・情報・機械工学専攻(修士)
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	ナノサイエンス・情報
高田工業所	ナノサイエンス
テラプローブ	ナノサイエンス・生物生命
東京エレクトロン九州	応用化学専攻(修士)
TOWA	機械
日本電子材料	機械・情報・機械工学専攻(修士)
羽野製作所	機械
日出ハイテック	機械
平田機工	機械・情報
フジクラプレジジョン	情報
吉川工業アールエフセミコン	ナノサイエンス・情報
淀川ヒューテック	ナノサイエンス
ローム・アポロ	ナノサイエンス
ワールドインテック	情報・生物生命
ワイ・デー・ケー九州	機械

就職先企業と出身学科 / 計23社68名(2025年3月卒業・修了者)

進め! 崇城大学 熊本が半導体で大変なこと!?



崇城大学の半導体教育 については動画をCheck!



2025年2月、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会が「我が国の『知の総和』向上の未来像〜高等教育システムの再構築〜」と題した答申を公表した。少子化が進む社会に対応した高等教育の在り方が問われる中、崇城大学 熊本市西区池田4丁目、小野長門学長では今年度から教育の質の向上を図るためにアセスメント体制を整え、大幅なカリキュラム改定を全学で実施した。

学生自身が「何が得意ようになったか」を自覚し、社会で活躍できる能力を身につけることを目的に、科目ごと評価の観点と到達度を5段階で明示した「評価基準」による評価指標IIルーブリックを導入。タイプロ



小野 長門
学長

崇城大学

斬新な教育改革で豊かな人間性と優れた専門力を 未来社会の到来を見据え、独自性を磨く

マ・ポリシー(学位授与方針)に基づき、各科目目標の到達レベルを数値化することで客観的な評価ができるシステムを構築し、学生自身で自己評価できるようにした。これにより、ただ単位を取得するのではなく、高い学びの質の保証を目指す。

従来、「基礎教育課程」としていたカリキュラムを「共通教育課程」と名称変更し、共通科目の大胆な改編を実施。リベラルアーツ要素を強化した文理融合の学びを目指す。アントレプレナーシップ(起業家精神)教育では、初年次からチャレンジ精神を養うアントレプレナーシップ教育をキャリア教育と結びつけて配置した。また、同大学で展開する「データサイエンティスト養成教育は、文部科学省から数値・データサイエンス・AI教育プログラムのリテラシーレベルと応用基礎レベルに認定されており、デジタル教育の充実にも力を入れる。

同大学では、急激に変化する

未来社会を見据えて分野横断的にデジタル技術を駆使し、多様な社会課題を解決できる人材の育成を目指した改組も検討している。

崇城大学独自の 「半導体人材育成学修プログラム」

熊本県における半導体産業の一層の集積をにらみ、同大学では機械工学科、ナノサイエンス学科、情報学科の3つの学科を横断して、幅広い半導体関連科目を系統的に学べる「半導体人材育成学修プログラム」を設け専門技術者の育成に取り組んでいる。

同大学の昨年度卒業生・修了生のうち、半導体関連企業へ就職した学生数は68名にのぼり、小野学長は「産大連携により工場見学や実習体験などを授業に取り入れ、今後も半導体分野において活躍できる生産管理技術者、製造装置および素材・部品の設計技術者を育てることで社会貢献していきたい」と話す。

次世代に活躍する女性の成長を力強く応援
少子化が急速に進む中、学生募集活動のユニークな施策の一つとして、次世代を担う女性の成長を支援する「次世代女子育成プログ

ラム」をこのほど新設。2026年春からその運用を開始する。対象分野は工学・情報・生物生命系の志願者で、海外留学や海外研修の支援、各界で活躍する女性リーダーや女性科学者によるキャリアアパス講座などを提供する。入試の結果次第では同大学の特待生制度「ミライク」の対象にもなるなど、女子学生のキャリア形成を強力にバックアップする内容となっている。

九州の私学で科研費配分額が1位に

長年、研究力の客観的指標ともいえる科研費(科学研究費助成事業)の採択件数において崇城大学は、医学部・歯学部を除く九州の私立大学でトップクラスの数字を維持している。

科研費は、人文学から自然科学まであらゆる分野における独創的・先駆的な学術研究を助成することを目的としたもので、同大学の今年度科研費の配分額も、医学部・歯学部のある大学を除いた九州の私立大学で昨年に続き1位となっている。小野学長はこの配分額は昨年を上回る結果となった。今後も知の創出につながる斬新な教育研究に期待したい」と語った。

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部		
薬学科	生物生命学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学科	宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

学級数削減を盛り込んだ提言書を提出

県立高校あり方検討会

県立高校50校のうち40校が「定員割れ」となっている中、熊本県立高の将来像を議論する「県立高等学校あり方検討会」（会長＝松下琢崇城大教授）は9月10日、越猪浩樹県教育長にこれまでの議論をまとめた提言書を提出した。

「あり方検討会」は少子化が進む中、約10年先を見据え、県立高校の学校規模や魅力化について検討するため去年7月に設置。25市町村で開催した地域意見交換会での意見も提言書に盛り込んだ。

提言書では全50校で現在の274学級から62学級程度減らすことが望ましいと示した上で、济々費、熊本、第二、熊本工の大規模校を含めた熊本市内11校についても2027～34年度に現在の96学級から20学級程度削減することも明記した。

そのほか、魅力ある高校

づくりに向けた取り組みとして、地域と学校の協働の推進、高大連携、高大接続の推進、ICTを活用した遠隔教育や外国にルーツを持つ生徒の学びの充実、教育DXの推進なども挙げた。

松下会長は「高校は地域にとつては活力の源であり、地域創生の要。県民の理解と協力を得ることも重要。学校存続を目標にして地域で努力してほしい」と語った。



▲松下会長(右)から提言書を受け取る越猪県教育長

室あたりの床面積は約25㎡で、既存の学生寮の約2倍の面積となる。各室には浴室、バルコニーを備えた。

また、7月からは既存の学生寮A、B棟2棟ならびに共用棟の改修工事を開始する。工期は来年3月まで。新設の学生寮と同様の間取りに拡張し、部屋数はA棟が122室から62室に、B棟が70室から32室となる。共用棟は共同浴場を廃し、席数約100席の食堂スペースを設ける。

崇城大学

菊陽町の空港キャンパス内に新学生寮が完成

崇城大学（熊本市西区池田4丁目、小野長門学長）が菊陽町の空港キャンパス内に建設していた新学生寮が6月に完成した。

同学生寮は鉄筋コンクリート造り4階建て、延べ床面積約3900㎡、部屋数は100室で、1